

令和3年度鴨島支援学校夏季公開研修会

演題 『一人一人の表現を大切にする授業実践へ』

～児童生徒の意欲を高め能力を発揮できる造形活動の授業づくり～

講師 広島大学人間社会科学研究科 准教授 池田 吏志 氏

特別支援学校での指導上の大きな問題点は、クラスの中に多様な実態の幼児児童生徒が含まれ、一つの学習内容や教材教具、そして指導方法では対応できないことではないでしょうか。本研修会では、幼児児童生徒一人一人の主体的な表現が求められる造形活動を取り上げ、特に把握した実態をどのように授業実践につなげていけばよいのか、どうすれば彼らの意欲が高まり、持っている能力を発揮できる授業づくりができるのか、セミナーとワークショップを通して理論的・実践的に考えていきたいと思います。

【概要(予定)】

①3つの実態把握

「クラス内実態把握」、「個別実態把握」、「実態階層と教員役割」という3種類の実態把握を行います。最初に基本的な考え方や方法を説明し、その後先生方が担当されている幼児児童生徒の実情を踏まえ、グループを作り、検討します。

②実態把握を生かした教材教具づくり

①で把握した実態を生かして教材教具を作成します。最初に幼児児童生徒の興味関心やできることを教材教具に反映させるための基本的な考え方や方法を説明します。その後、実際に先生方が担当されている幼児児童生徒のために教材教具を作成します。

※研修会では、実態把握や教材教具づくりのための指標をまとめた冊子を使用し、理論と実践を往還させながら活動します。

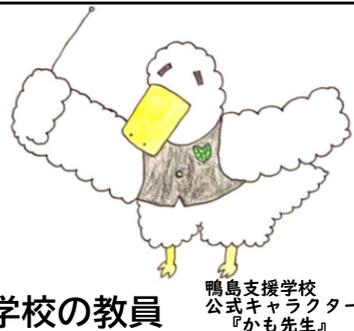
※今回の研修内容は、特に重度・重複障がい児を想定した研修内容にしています。

※簡易にできる版画で使用する教材教具を作成します。

日 時 令和3年8月24日(火) 13:00～16:30

方 法 リモートシステム(Zoom)を活用したLIVE配信

対 象 本校教職員及び県内の特別支援学校の教職員
阿波市・吉野川市の保育所・認定こども園・小中学校の教員
その他関係機関の方 等



申込み FAXでお申し込みください。【7月20日(火)〆切】

手続き ①インターネット環境が必要です。各自でご準備ください。
②後日メールにて「ID」「パスコード」をお送りいたします。
③事前に接続テストを行います。詳細はメールでお知らせします。

お問合せ先 TEL:0883-24-6670 FAX:0883-22-1073
Eメール: kamojima_ss_2@mt.tokushima-ec.ed.jp
担当:鴨島支援学校 研究課 楨納(まきの)